

善戦した全国高校総合体育大会(佐賀インターハイ)・ 全国高校ライフル射撃競技選手権大会

選手・監督に拍手!! インターハイ・選手権大会選手権大会で善戦

佐賀インターハイ・選手権大会に出場した監督・選手より大会の報告とコメントをいただきました。

陸上競技 快挙1500m決勝 第5位入賞

出場選手

石山真紀子	山形六中	3年
大江茉莉香	高楯中	2年

大会成績

石山真紀子	1500m	予選 3組 3位	4分29秒57(自己新)
〃	〃	決勝 第5位	4分26秒60(自己新)
石山真紀子	3000m	予選 3組 4位	9分22秒60(自己新)
〃	〃	決勝 第13位	9分26秒29
大江茉莉香	800m	予選 1組 6位	2分15秒49(自己新)

8月2日から佐賀県総合運動公園陸上競技場で開催され、大会初日から台風の影響で日程が変更となる悪コンディションの中で行われました。大会2日目に石山真紀子は1500m決勝で見事第5位入賞という快挙を成し遂げた。この日はウォーミングアップ開始から雷雨に見舞われスタート時間が2時間20分遅れとなる状況であったが、終始冷静さと集中力を失わず、レースでは積極的な走りを心がけたことが入賞につながりました。

[吉田監督]

決勝では雷雨のためスタート時間が大幅に遅れたが、とにかく集中力を切らさないことと自分に妥協しないように努めました。予選では終盤のレースで、位置の取りが悪くスパートが遅れてしまったので、決勝では終始先頭集団の中にいて早めに勝負を仕掛けることを心がけました。

自分に妥協しないことを忘れずに走れたことで、ラスト50m付近でも一人を抜いて第5位入賞することができて本当に嬉しいです。

[石山真紀子選手]



表彰式を終え、晴々とした表情
の石山真紀子選手



インターハイ 青春佐賀総体

〈第7日〉

佐賀県で開かれている「日競技を行った。全国高校総体（インターハイ）は第7日の3日、五百m決勝で石山真紀子（山形城北）がレース終盤に粘り強さを発揮し、4分26秒60で5位入賞を果たした。

石山真紀子 輝く5位 女子1500

苦しみ最後に「褒美」

ヒロイン

陸上女子千五百mの石山真紀子（山形城北）が初めて最後のインターハイで5位入賞を果たした。自己ベストも塗り替えた。苦しみながら走ってきた3年間、すこい褒美をもらった」と笑顔を見せた。

雷雨の影響でスタートが予定より遅れた決勝レース。「集中力が途切れそうになったが、自分らしい走りすれば勝ると言い聞かせた」。スタートこそ出遅れたものの、中盤以降は攻めの走りで徐々に順位を上げた。ゴール直前でも一人抜き去り、フィニッシュした。大会のチャンス。すべてを懸けて臨んだ。予選から持ち前の積極的な走り、自己記録を1秒更新し決勝へ。会心のレースを終えた石山は「自分に妥協しなかったから得られた結果。あきらめずに続けてきて良かった」と晴れやかに語った。

中学時代はバスケットボール部。駅伝大会に出場した際に見せた負けん気の強い走りが吉田進監督の目にとまり、高校から本格的に陸上を始めた。1、2年時はオーバークックから大会直前にかかとを痛め、結果を残せなかった。

今大会の2週間前もかかとを痛めた。コンディショニングは万全ではなかったが、「最後につかんだ全



陸上女子 1500m 決勝 5位に入賞した石山真紀子 [佐賀県総合運動場陸上競技場] 「記事・写真」は山形新聞社より許可を得て転載 (平成19年8月4日新聞掲載)

なぎなた競技

念願のベスト16 更なる高みを目指して

出場選手

丹 千尋	山形五中	3年
山川千翔	山形三中	3年
葛岡さおり	山形四中	3年
松田かおり	山形三中	2年
高島彩花	山形四中	2年
木村夏美	山形三中	2年
遠藤花恵	山形七中	2年

8月2日～4日の3日間、佐賀県嬉野市、嬉野市体育館を会場に、全国高校総体なぎなた競技が行われました。

本校が出場した団体戦は、2日に予選リーグが行われました。予選は3チームのリーグ戦を行い、上位1チームが4日の決勝トーナメントに駒を進めることができます。本校は柏崎常磐高校（新潟県）と吉田高校（静岡県）と対戦しました。

対柏崎常磐戦、先鋒木村、次鋒丹、中堅高島までは引き分けが続き、迎えた副将松田が側メンで1本勝ちし、大将山川が引き分け、1-0で勝ちました。2戦目の対吉田戦、これに勝つと決勝トーナメント進出となり、選手はよい緊張感を持って試合を迎えました。先鋒木村が幸先よく1本勝ち、次鋒丹、中堅高島が引き分け、そして副将松田が好調の側メンで2本勝ちし、この時点で勝ちが決まりました。大将戦では相手大将が意地を見せ、1本取られましたが、2-1で勝ち、念願のベスト16入りを果たしました。

4日の決勝トーナメント1回戦は、実力校の津幡高校（石川県）。先鋒木村は相手の素早い攻撃を交わしながらうまく攻めたものの引き分け、次鋒葛岡は後半集中が途切れたところで1本取られ、中堅高島は相手に先手を取られその後果敢に攻めたものの1本にならず、この時点で0-2でした。次の副将松田に期待がかけましたが、守りを固める相手に責めあぐね、大将山川も本来の動きができず、そのまま0-2で試合が終了しました。

これまであと一歩というところで逃してきた決勝トーナメント進出を果たし、上位チームと対戦することの厳しさを実感すると共に、手ごたえもまた感じることもできました。応援して下さった皆さんに感謝しつつ、5日からまた稽古をはじめたところです。

[須藤監督]

佐賀県で開かれている全国高校総体（インターハイ）は第8日の4日、9競技を行った。

11、23面に関連記事
県勢は、新体操女子個人総合で庄司七瀬（山形北）が会心の演技で3連覇を達成。1974-76年の麓久美子（鹿児島・鹿児島純心女）以来、31年ぶりとなる3年連続総合優勝を果たした。

陸上では、女子走り高跳びで岡部ソフィ満有子（山形北）が1尺72を跳び、1年生ながら銀メダルを獲得。なぎなた団体の山形城北は、決勝トーナメント1回戦で津幡（石川）に0-2で敗れ、8強入りを逃した。

大会第9日のきょう5日は、陸上やソフトボールなど8競技を行う。

8強目前に 無念の敗退

山形城北

なぎなた

（嬉野市体育館）

▽団体決勝トーナメント

1回戦

津幡 2-0 山形城北

川合 0-0 木村

○川上 1-0 葛岡

○油井 1-0 高島

山岸 0-0 松田

蒲田 0-0 山川

▽同決勝

佐賀東 2-0 熊本西

（佐賀）

▽個人決勝トーナメント

2回戦

岸川南加 判定 大沼夢奈

（佐賀・判定）

牛津

山形西

山形城北

山形城北

山形城北

山形城北

山形城北

山形城北

山形城北

山形城北

山形城北

山形城北

山形城北

山形城北

山形城北

山形城北

山形城北



つた。0-1で迎えた中堅戦。高島彩花（2年）は得意の面で積極的に攻めたが、一瞬のすきを突かれ一本負け。続く副将の松田かおり（2年）は守りを堅める相手に「焦ってしまった」。引き分けで敗退が決まった。5人中3人が2年生。勝負どころで一本を取り

きれない若さを露呈したが、丹千尋主将（3年）はこの経験を糧に来年こそやってくれ」と涙をぬきながら話した。

なぎなた団体決勝トーナメント1回戦 山形城北ー津幡（石川）

面を打ち込む本校の中堅・高島選手（左） 【嬉野市体育館】

「記事・写真」は山形新聞社より許可を得て転載（平成19年8月5日新聞掲載）

出場選手

大野 幸	大富中	3年
齋藤有沙	山形二中	3年
大場菜津美	陵南中	3年
灘波彩夏	鶴岡一中	3年
森谷瑞穂	高楯中	2年
木村美玖梨	東根一中	2年
市川 咲	山形六中	2年
井上歩美	陵南中	2年

「この夏 佐賀に君色の風が吹く」をテーマとして8月3日～5日まで開催された佐賀インターハイでは新体操女子団体競技に出場し、“弾ける笑顔でノーミス1本”を合言葉にチーム一丸となって演技し昨年を上回る第14位の成績を修めることができました。今後も努力を重ね上位入賞めざし頑張ります。

[岩田監督]



山形城北 納得の14位 新体操女子団体

体操

▽新体操 (佐賀県総合体育館)
 ◇男子団体 ①神埼清明 75点 (構成9・625、実施9・550、減点0)
 ②井原・精研 (岡山) 75点 (構成7・625、

実施7・950、減点0)
 ③名古屋女大高 (愛知) ④山形城北 (大野・斎藤・大場・木村・森谷・難波) 12・325点 (構成5・675、実施6・650、減点0・00)
 メンバー充実感あふれる笑顔

○…全国の舞台上で納得の演技ができた。新体操女子団体で14位の山形城北。2年ぶりの入賞はなげなかつたが、選手たちは充実感を隠さなかつた。去年は23位。少しでも上位を目指そうと、はじけるような笑顔を見せよう。そう団結して臨んだ山形城北。空中でフープを交換する技に積極的に挑戦し、空間を利用して演技に大胆さを加えた。笑顔も一度も絶やすることなくやり遂げ、主将の大野幸は「気持ちよく、悔いはありません」と満足げだった。

新体操女子団体 リズミカルな演技を披露 [佐賀県総合体育館]

「記事・写真」は山形新聞社より許可を得て転載 (平成19年8月6日新聞掲載)

バドミントン競技

来年更なる飛躍を期待

出場選手

大山千春	天童二中	2年
佐藤 茜	天童一中	1年

大会成績

女子個人対抗シングルス

1回戦

大山千春 0 $\left(\begin{array}{l} 9-21 \\ 9-21 \end{array} \right)$ 2 土谷美帆 (金沢向陽高)
(武雄市立北方中学校体育館)

佐藤 茜 0 $\left(\begin{array}{l} 14-21 \\ 10-21 \end{array} \right)$ 2 佐藤詩織 (常総学院高)
(武雄市白岩体育館)

2回目の出場となる大山は、全国上位高の選手との対戦であったが、物怖じすることなく非常に攻撃的にプレーし、試合内容は全国レベルに近いことを示してくれた。佐藤は、初出場ということもあり、実力差のない相手であったが力を発揮できず、接戦に持ち込むことができなかった。両者とも1、2年生ということで来年更なる飛躍を期待したい。
[佐藤監督]

ソフトテニス競技

チーム一丸となり臨むことができた

出場選手

片山 冴	山形四中	3年
武田愛実 組	山辺中	2年
久保佳名美	酒田一中	3年
遠藤晃奈 組	山形四中	2年

大会成績

2回戦

片山・武田 ④ - 0 日大藤沢高校 (神奈川)

久保・遠藤 ④ - 2 陽志館高校 (大分)

3回戦

片山・武田 1 - ④ 和歌山信愛 (和歌山)

久保・遠藤 ④ - 0 出雲高校 (島根)

4回戦

久保・遠藤 2 - ④ 嬉野高校 (佐賀)

(ベスト64)

今年は団体戦を逃してしまい、個人戦だけの出場となった。悪天候という環境の中で、選手はチームのために必死に戦いベストを尽くしたと思います。来年は団体戦で全国高校総体に出場できるようもう一度意識を高めがんばっていきたい。
[鈴木監督]

卓球競技

インターハイの経験を生かし、次の試合へ繋げたい

出場選手

清野紗由美	山形一中	2年
高梨紀子	河北中	3年
小野奈希沙	河北中	1年

8月9日～14日まで佐賀県総合体育館で行われました。台風も過ぎ去り、非常に暑い中での大会となりました。

個人戦のみの出場で、シングルスには昨年度もインターハイに出場した2年の清野紗由美、ダブルスには3年の高梨紀子・1年の小野奈希沙組みが出場しました。清野は初戦、高岡西高校の選手と対戦し、苦しみながらも何とか3-2で勝利することが出来ました。続く二回戦は、シード選手でもある鹿児島城西高校の選手と対戦し、善戦むなしく惜敗しました。

ダブルスの初戦は、学校対抗で3位にも入賞した強豪校、名経大高蔵のペアと対戦し、序盤はいい展開でしたが、最後は力で押し切れられ残念ながら1-3で敗れました。

大会を振り返って感じたことは、全国の舞台で勝つことの難しさ、レベルの高さでした。また、個人戦のみの出場ということもあり会場の独特な雰囲気慣れるまで時間がかかり、思うようなプレーができず大変苦労しました。来年は是非団体戦も出場したいと思います。

今後は、今大会の経験を生かし、新人戦に向けまた頑張ります。

[布川監督]

ライフル射撃競技

チーム・ライフル女子学校対抗戦団体戦第14位

出場選手

井上由紀	宮沢中	2年
富塚みのり	山形五中	3年
菅野澄怜	山形九中	3年
田中寿幸	山形二中	3年
大場充義	大石田一中	3年
越前谷美樹	山形二中	3年
丹彩香	山形六中	3年
鈴木絢香	山形二中	3年
井上由紀	宮沢中	3年
富塚みのり	山形五中	3年
菅野澄怜	山形九中	3年
大類瑛理香	尾花沢中	2年
小山聡美	山形二中	3年



競技に臨む丹彩香（左側）・田中寿幸（右側）両選手

広島県安芸太田町「つつがライフル射撃場」

大会成績

種目：10mエア・ライフル少年男子立射60発競技（個人戦）

田中 寿幸 538点

大場 充義 500点

種目：10mエア・ライフル少年女子立射40発競技（個人戦）

鈴木 絢香 359点

越前屋美樹 357点

丹 彩香 343点

競技名：ビーム・ライフル射撃競技

種目：ビーム・ライフル女子学校対抗戦（団体戦）

第14位 山形城北（菅野澄怜・井上由紀・富塚みのり）1152点

種目：ビーム・ライフル少年女子立射40発競技（個人戦）

菅野 澄怜 393点

井上 由紀 386点

富塚みのり 373点

小山 聡美 371点

大類瑛理香 367点

広島県安芸太田町「つつがライフル射撃場」にて、7月28日～31日大会が開催されました。各県の予選を勝ち抜いた選手が、全国から500名以上集まり、4日間の長い全国大会が広島県安芸太田町で行われました。会場は、アジア大会が開かれた大規模な射撃場で、国際ルールに基づいた最新の電子標的というもので競技を行ってきました。

団体戦の成績は、ビーム・ライフル女子の部に出場し第14位という結果でした。個人戦は残念ながら予選敗退という結果だったので、来年はぜひ決勝の8名に残れるように頑張っていきたいと思います。

[秋場監督]

ご声援ありがとうございました。